

「主催者なし ステージのような魔力 渋谷ハロウィーン マナー守って」(『東京新聞』平成30年10月31日朝刊)

ハロウィーンに関する情報提供及び電話による取材を受け、コメントした。一部記事の内容を抜粋で紹介。

「佐々木隆・武蔵野学院大大学院教授(ポップカルチャー)は「仮装しているので、普段より思い切った行動を取りやすい。そこに集団心理を相まって、突飛な行動に走る人も出てくのでは」と話す。ここに酒の力が加われば、過激さも増す。

(省略)「日本では九月からハロウィーン商戦が始まり、三十一日が当日と知らない人すらいる。区の対策は良いが、周知するのが遅すぎた」と佐々木教授。「鉄道の相互乗り入れの影響で、渋谷の地盤沈下懸念されており、規制は避けたいだろうが、このままいけば大変なことになる」と行政、警察、地元商店街によるルール作りを求める。」

ここでの地盤沈下とは東急東横線と東京メトロ・副都心線の乗り入れ運転となったため渋谷での人流が減るのではないかとの懸念もあるという意味。